

# 予防接種のご案内

お母さんから赤ちゃんにプレゼントされた病気に対する抵抗力（免疫：めんえぎ）は、成長とともにほとんどが自然に失われていきます。予防接種を受けて免疫をつくり、病気を予防しましょう。

定期予防接種は、きちんと免疫をつけるために標準的な期間に正しい回数を受けることをおすすめします。

## ～乳幼児期の定期予防接種～

- **小児用肺炎球菌【対象年齢 生後2か月～5歳未満】**  
初回接種時の年齢により1～4回接種（※接種回数は、初回接種の開始年齢によって異なります）  
（標準的な接種スケジュール 生後2か月～7か月に至るまでに接種を始めた場合）  
初回接種 3回（27日以上の間隔をあけて3回）  
追加接種 1回（初回終了後60日以上の間隔をおいて生後12月に至った日以降に1回）
- **B型肝炎【対象年齢 1歳未満】**  
（標準的な接種スケジュール）  
1回目 生後2か月から  
2回目 1回目終了後27日以上あける  
3回目 1回目終了後139日以上あける  
1価：2回 5価：3回  
（1価・5価）初回14週6日後までに接種
- **ロタウイルス感染症【対象年齢（1価）生後6週から24週0日（5価）生後6週から32週0日】**  
（1価・5価）2回ごとの間隔：27日以上あける
- **5種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ・Hib）予防接種【対象年齢 生後2か月～90か月未満】**  
1期初回 3回（20日以上の間隔をあけて3回接種）  
（標準的な接種期間：生後2か月～生後7か月に至るまで）  
1期追加 1回（1期初回（3回）終了後6か月から18か月までの間隔をおいて1回接種）
- **BCG（結核）【対象年齢 生後1歳未満】**  
1回（標準的な接種期間：生後5か月以上8か月未満）
- **MR（麻しん・風しん混合）**  
1期 1回 【対象年齢 1歳～2歳未満】  
2期 1回 【対象年齢 5～7歳未満の児で、小学校就学前年度の4月1日～3月31日までの期間】
- **水痘（水ぼうそう）【対象年齢 1歳～3歳未満】**  
（標準的な接種期間）  
1回目 生後12か月～生後15か月に至るまで  
2回目 1回目終了後6か月～12か月までの間
- **日本脳炎 【対象年齢 1期：生後6か月～90か月未満】**  
1期初回 2回（6～28日の間隔をあけて2回接種）  
（標準的な接種期間：3歳～4歳）  
1期追加 1回（1期初回終了後1年あけて1回接種）  
※勧奨差し控えにより接種できなかった方については、子ども政策課までご相談ください。

## ～小学生から高校生までの定期予防接種～

- **日本脳炎 【対象年齢 2期 9歳～13歳未満】**  
2期 1回（標準的な接種期間 9歳のとき）
- **2種混合 【対象年齢 2期 11歳～13歳未満】**  
2期 1回（標準的な接種期間 11歳のとき）
- **HPV（子宮頸がん） 【対象年齢：小学6年生から高校1年生相当年齢の女子】**  
HPVワクチンは3種類あります。間隔をあけて同じワクチンを合計3回接種します。  
接種するワクチンによって接種のタイミングが異なります。医療機関にお尋ねください。



## ～妊婦さんが赤ちゃんのために接種する定期予防接種～

- **母子免疫RSウイルス 【対象：妊娠28週0日目から36週6日目】**  
出産予定日が変更になった場合でも、接種日当日に妊娠28週0日～36週6日であれば対象となります。  
詳しくは医療機関にご確認ください。